

2019年度 水辺の自然再生共同シンポジウム

里山・里地-豊かな自然の保全と活用

侵略的外来種防除による保全と世界農業遺産「大崎耕土」の推進

期 日 2019年10月26日(土) 10:00~17:15

会 場 東京環境工科専門学校(東京都墨田区江東橋;最寄駅;JR・半蔵門線、錦糸町)

主 催 水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会

(NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう)

次 第

開会 10:00~ 総合座長 門間忠良(シナイモツゴ郷の会)

趣旨説明 高橋清孝(共同シンポジウム実行委員長、シナイモツゴ郷の会)

第1部 講演 豊かな自然の復元と保全・活用 10:15~12:15

座長 佐藤弘樹(シナイモツゴ郷の会)

(1) 復元と保全の戦略

①モツゴ類のルーツと保全

川瀬成吾(大阪経済法科大学) 30分

②オオクチバス防除によるゼニタナゴの復元

藤本泰文(宮城県伊豆沼内沼環境保全財団) 30分

(2) 豊かな自然の活用

①世界農業遺産がめざす豊かな自然の保全と活用-現状と課題

武元将忠(大崎市産業経済部) 30分

(3) 自由討論 30分

第2部 ポスター発表 12:30~14:00

(1) 地域ぐるみの保全活動-生き物ブランド米で豊かな自然を守り続ける農業者の活動

①シナイモツゴ郷の米でシナイモツゴを守る

: 吉田千代志(シナイモツゴ郷の米づくり手の会)

(2) 水辺環境の変化と生き物たちの盛衰

①消えた天然沼-品井沼の明治大正期の漁業と現在の魚

三浦仁一(シナイモツゴ郷の会)

②手賀沼におけるニホンウナギの盛衰

半沢裕子（手賀沼水生研）

(3) 豊かな自然を守る新たな技術と活動

①自動給餌機を使用しないウチダザリガニ用連続捕獲装置の開発

：高橋清孝・長谷川政智・根元信一（シナイモツゴ郷の会）

②アメリカザリガニの繁殖抑制技術の開発

：長谷川政智・高橋清孝（シナイモツゴ郷の会）

③アメリカザリガニの有効活用、中華料理店のメニュー化と加工品開発

：坂本 啓・内藤朝陽（シナイモツゴ郷の会）

④ニッポンバラタナゴ生息池におけるアメリカザリガニ防除

：川瀬成吾（大阪経済法科大学）・ECO～る∞KEIHO

⑤ため池池干しによるブラックバス駆除

：三塚牧夫（ナマズのがっこう）

⑥ため池事故防止 安全ネットの改良

：根元信一（東北興商）

(4) 自由課題（一般募集 10 課題）

第3部 講演 水辺の侵略的外来種の防除と成果 14:00～16:30

進行 長谷川政智（シナイモツゴ郷の会）

(1) 国家戦略 侵略的外来種防除の国家戦略と現況

北橋義明（環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室室長） 40分

(2) 侵略的外来種の防除と効果

①ザリガニ類捕獲ツールの開発と防除戦略：

高橋清孝・長谷川政智（シナイモツゴ郷の会） 30分

休憩 10分

②洞爺湖におけるウチダザリガニの防除と効果

室田欣弘（UWクリーンレイク洞爺湖） 30分

③ここがポイント！自然が再生する「かいぼり」のはなし

片岡友美（生態工房） 30分

第4部 総合討論 16:30～17:10

座長 半沢裕子（手賀沼水生研）・高橋清孝（シナイモツゴ郷の会）

閉会 17:10～17:15 二宮景喜（シナイモツゴ郷の会）